

評価基準委員会だより

Vol. 1

全国競売評価ネットワーク
平成26年 8月 27日
作成者名 村上 幸二郎

会議名 平成26年度 第1回評価基準委員会

開催日時：平成26年7月12日 午後1時～5時

場 所：航空会館（東京）504会議室

参加者：代表理事1名 担当理事1名 最高裁民事局2名 専門委員：3名
事務局1名 委員長 副委員長2名 ブロック委員3名

主な議題

1. 委員長、副委員長の選任
2. 「平成26年度」評価基準委員会の検討課題について

議事内容

1. 委員長、副委員長の選任

委員の互選により、今年度の委員長に村上委員（高松ブロック）が選任（再任）、副委員長に小林委員（大阪ブロック）、岡村委員（東京ブロック）が選任（各新任）された。

2. 「平成26年度」評価基準委員会の検討課題について

村上から平成26年度第1回評価基準委員会のレジュメ（第1回検討会資料）により、これまでの活動成果を踏まえ「基準」及び「書式」等のさらなる均質化とブラッシュアップを目的とした本年度評価基準委員会の検討課題について

の説明が行われた。

当該検討課題について各委員及び理事等による意見交換が行われた結果、評価書作成において特に留意すべき項目を挙げるとともに各委員で担当を定め、次回会議までに検討を行うことが確認された。

なお、上記6項目の各委員への担当振り分けについては、委員長及び副委員長に一任し後日連絡することとなった。

作業の具体的進め方

① 評価人が「拠り所とすべき総合的理念」についての明文化

現在の競売評価基準作成を踏まえた上で、委員の皆様のご意見をお寄せいただきます。これらを参考にして、評価人が「拠り所とすべき総合的な理念」について「競売評価書はどうあるべきか」という観点から論理の整理を行い、その明文化を図りたいと考えます。

② 過去に問題となった判例等の具体的な提示

i) 評価書で特に留意すべき項目についての担当委員の割り当て

最終的なアウトプットとしての評価書作成の際に、特に留意すべき項目として、次の6つを挙げました。

- a. 所 在
- b. 評価数量
- c. 道 路
- d. 給排処理施設
- e. 公法規制
- f. そ の 他（賃料，一時金，賦課金等）

ii) 各項目についての具体的な問題提示

前記 a～f の各項目のうち、ご担当される項目について関連する適当な「判例」と、「ヒヤリハット事例（KB ネット発行），物件調査マニュアル（KB ホームページに掲載）」を抽出・提示して頂きます。

iii) 各項目についての「基本的な考え方」の検討

前記①の「総合的理念」並びに前記② ii) の「判例等」を踏まえた上で、前記 a ～ f の細項目について「評価書作成の際、念頭に置くべき基本的な考え方」を検討し、明文化して頂きます。

iv) 競売評価基準での位置付け

今回の検討結果は競売評価基準（H22.4 発行）の「追記」として位置付け、会員に向けてしかるべき方法で情報提供を行いたいと考えております。

評価基準委員会から

昨年度(平成25年度)は評価基準並びに標準書式に関するアンケートにご協力いただきありがとうございました。アンケート結果を今後、基準・書式の一層のブラッシュアップに役立てたいと思います。